



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 東

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡

TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	741	15.9	43	29.2	46	25.1	1	95.4
2020年3月期第1四半期	881		61		62		40	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2百万円 (94.6%) 2020年3月期第1四半期 40百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1.69	
2020年3月期第1四半期	37.18	

2020年3月期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第1四半期の対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,488	2,489	71.2
2020年3月期	3,340	2,552	76.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,481百万円 2020年3月期 2,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定する事が困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,136,854 株	2020年3月期	1,136,854 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	43,290 株	2020年3月期	43,290 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,093,564 株	2020年3月期1Q	1,093,578 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(修正再表示)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	9
(2) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により実体経済に多大な影響が発生し、厳しい状況に転じました。

このような新型コロナウイルス感染症流行下において、当社グループは「地域の感染拡大防止」と「従業員の安全確保」という社会的責任を果たすため、国内の全店舗を4月初旬から4月末まで全店休業し、一部テナント店舗は5月末まで休業いたしました。また、タイ王国の倉庫型店舗は3月末から4月末まで、テナント店舗は4月から5月中旬まで休業いたしました。営業再開後も時短営業、ソーシャルディスタンスの確保、レジ前のビニールシートの設置、店舗への消毒液やマスクなどの配備等を実施し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めております。

5月の営業再開後は、前連結会計年度に引き続き、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめるとともに、収益の改善に努めてまいりました。具体的には「攻めと守りの5つの戦略」（商品と売場の強化、買取強化、ネット事業の拡大、店舗の生産性向上、人材マネジメントの確立）を通じて既存コア事業の強い足腰の形成を進めることで売上総利益率の改善と販管費の適正化を実現し、営業利益額・率の回復を目指しました。

営業政策面では「新しい日常」に対応すべく、ネット通販の強化、スポーツ・アウトドア・家電等の強化を進めました。

店舗政策面では、タイ王国4号店となるWattmann Sukhumvit 39店のオープンを2020年4月から8月に変更いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ1億40百万円(15.9%)減収の7億41百万円となりました。これはタイ王国の3店舗と海老名店を中心とした新店が前年同期と比べ6百万円(8%)増収の86百万円でありましたが、4月全店休業により、既存店が前年同期と比べ1億46百万円(18.3%)減収の6億54百万円となりました。

商品カテゴリー別の売上高では、電化製品等が前年同期と比べ8百万円(4.9%)減収の1億68百万円、服飾等が1億14百万円(34.1%)減収の2億21百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が21百万円(9.1%)減収の2億16百万円、その他は4百万円(3.8%)増収の1億34百万円となりました。

売上総利益は、売上減収のため前年同期と比べ1億3百万円(17.6%)減益の4億86百万円、売上総利益率65.6%となりました。既存店は94百万円(17.6%)減益の4億44百万円、新店は9百万円(17.9%)減益の42百万円となりました。

商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年同期と比べ3百万円(3.3%)減益の1億13百万円、服飾等が85百万円(38.9%)減益の1億34百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が10百万円(6.8%)減益の1億44百万円、その他は3百万円(4.1%)減益の94百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、生産性向上による人件費の減少および休業期間中の人件費、家賃、減価償却費等の固定費39百万円を特別損失に計上した事等により、前年同期と比べ86百万円(16.3%)減少し4億42百万円となりました。既存店では主に人件費の減少と特別損失への振替により、83百万円(17.7%)減少の3億85百万円、新店では2百万円(5.0%)減少の57百万円となりました。

上記の結果、営業利益は、前年同期と比べ17百万円(29.2%)減益の43百万円となりました。既存店は11百万円(16.7%)減益の営業利益58百万円、新店は6百万円減益の営業損失15百万円となりました。経常損益は前年同期と比べて15百万円(25.1%)減益の46百万円となりました。

経常利益以下については、臨時休業による損失39百万円を計上した結果、税金等調整前四半期純利益が前年同期と比べ54百万円(88.2%)減益の7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円(95.4%)減益の1百万円となりました。

上記の通り4月を中心とする休業の影響により減収減益となりましたが、当初の予想より大幅に早い当第1四半期連結累計期間において最終黒字となりました。また5月から6月の当社単体売上高は前年同期並みの5億92百万円、売上総利益は前年同期並み3億98百万円、営業利益は前年同期と比べ38百万円(84.7%)増益の83百万円となりました。このように5月以降の業績は急回復しており、休業による業績への影響は一時的、限定的で、「新しい日常」においても当社のビジネスモデルは有効であると考えております。

なお、2019年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、22億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加いたしております。

これは、現金及び預金が2億11百万円増加、売掛金が7百万円増加し、商品が55百万円減少したことなどが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少いたしております。これは、有形固定資産が11百万円減少したことなどが主な要因であります。

この結果、総資産は34億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億48百万円の増加となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、5億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしております。

これは、短期借入金が1億13百万円、1年内返済予定長期借入金が28百万円増加し、未払法人税等が47百万円、賞与引当金が19百万円減少したことなどが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、4億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億35百万円増加いたしております。

これは、長期借入金が1億36百万円増加したことなどが主な要因であります。

この結果、負債合計は9億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億11百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、24億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少しております。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1百万円計上されたこと、配当金が65百万円あったこと等により利益剰余金が63百万円減少したことが主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が71.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「(1) 経営成績に関する説明」の通り、営業再開後の5月から6月の当社単体売上高は前年同期並みの5億92百万円、売上総利益は前年同期並み3億98百万円、営業利益は前年同期と比べ38百万円(84.7%)増益の83百万円となりました。その結果当初の予想より大幅に早い当第1四半期連結累計期間において最終黒字となりました。

当社といたしましては5月以降の業績は急回復しており、休業による業績への影響は一時的、限定的で、「新しい日常」においても当社のビジネスモデルは有効であると考えております。

一方で、国内での新型コロナウイルスの感染拡大による国内景気や個人消費への影響は、緊急事態宣言解除後も更なる感染拡大リスクが拭えないことなどから、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況を踏まえ、現時点では2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定する事が困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,364,151	1,575,349
売掛金	70,904	78,866
商品	568,113	513,018
その他	106,365	106,161
流動資産合計	2,109,534	2,273,395
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	179,016	171,625
土地	382,457	382,457
その他	82,869	78,272
有形固定資産合計	644,343	632,354
無形固定資産	21,481	19,592
投資その他の資産		
投資有価証券	3,685	4,032
敷金及び保証金	483,226	483,518
その他	77,831	75,296
投資その他の資産合計	564,743	562,847
固定資産合計	1,230,568	1,214,794
資産合計	3,340,102	3,488,190
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,514	11,483
短期借入金	-	113,960
1年内返済予定の長期借入金	120,560	149,120
未払法人税等	59,621	12,341
賞与引当金	26,600	7,033
その他	206,941	213,698
流動負債合計	431,238	507,637
固定負債		
長期借入金	236,100	372,640
退職給付に係る負債	25,500	28,016
その他	94,645	90,848
固定負債合計	356,246	491,504
負債合計	787,484	999,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,659,861	1,659,861
利益剰余金	539,013	475,258
自己株式	△57,570	△57,570
株主資本合計	2,641,305	2,577,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△346	153
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	109	△44
その他の包括利益累計額合計	△95,963	△95,617
非支配株主持分	7,275	7,115
純資産合計	2,552,618	2,489,048
負債純資産合計	3,340,102	3,488,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	881,456	741,113
売上原価	291,380	254,964
売上総利益	590,076	486,149
販売費及び一般管理費	528,727	442,714
営業利益	61,348	43,434
営業外収益		
受取利息	486	368
受取配当金	61	5
受取手数料	1,798	1,684
為替差益	-	2,306
その他	596	590
営業外収益合計	2,943	4,955
営業外費用		
支払利息	928	788
長期前払費用償却	1,094	1,094
その他	225	62
営業外費用合計	2,247	1,945
経常利益	62,044	46,445
特別利益		
投資有価証券売却益	218	77
特別利益合計	218	77
特別損失		
臨時休業による損失	-	39,231
特別損失合計	-	39,231
税金等調整前四半期純利益	62,262	7,291
法人税等	21,600	5,432
四半期純利益	40,661	1,858
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,661	1,858

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	40,661	1,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	500
為替換算調整勘定	△58	△154
その他の包括利益合計	134	345
四半期包括利益	40,796	2,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,826	2,365
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	△160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響としては、日本において4月中旬から4月末、タイ王国において3月下旬から4月末に主要な店舗を休業した事と、営業再開後もコロナウイルス感染症の影響が最大1年間継続するとの仮定に基づき、会計上の見積りを行っております。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

(2) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
リユース事業	電化製品等	34,964	17.4	48.8
	服飾等	73,222	36.5	64.5
	パッケージメディア	60,113	30.0	65.6
	その他	32,158	16.1	96.9
合計		200,458	100.0	64.7

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
リユース事業	電化製品等	168,375	22.7	95.1
	服飾等	221,716	29.9	65.9
	パッケージメディア	216,762	29.3	90.9
	その他	134,258	18.1	103.8
合計		741,113	100.0	84.1

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。